# 和歌山県庁文化国際課メールマガジン★NO.11★

メルマガ愛読者の皆様こんにちは。

早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。月日がたつのは本当に早く感じます。今年の正月を祝ったのが昨日のように感じる今日この頃です。

さて前回のメルマガは、和歌山県内の観光地で海外からの外国人観光客の方々にインタビューを行い貴重な意見を伺い、皆様に配信させていただきました。今回のメルマガは、文化紹介やコラム、クイズに加え、山東省に留学されている、世界各国の留学生の方々に中華人民共和国についてのインタビューを行い、興味深いご意見を頂戴いたしました。大変興味深い内容なのでご期待ください。

## ●文化国際課だより●

### 中国山東省環境訪問団来県レポート

11 月 24 日夕方、関西国際空港で中国の山東省から環境研修団を迎えました。

まずは、「環境研修団」について、少し説明しましょう。

中国山東省と和歌山県は 1984 年より友好関係を締結して以来、様々な分野で交流を行っています。その交流の一つは、環境技術交流です。経済の急成長とともに、中国では環境問題がますます深刻化しており、世界から注目されています。和歌山県はこの中国の環境問題の解決に協力するため、平成 20 年から友好提携先である山東省から環境技術者研修団を受け入れており、今回で 5 回目を迎えます。研修団の皆さんは和歌山県に 1 週間滞在し、環境管理の技術や経験を学びます。

今回は、15 名もの団員が来県し、研修テーマは『土壌汚染対策』でした。11 月 25 日から 29 日の間で研修を実施し、午前中は和歌山県環境技術者による環境講義を受け、午後からは企業視察を行いました。今年ご協力いただいた企業は 25 日に新日鐵住金（株）和歌山製鐵所、26 日に関西電力（株）御坊発電所、27 日に花王（株）和歌山工場、28 日に大栄環境（株）で、いずれも環境保全に先進技術を利用して取り組んでいる企業です。日本の先進技術には、山東省の各地から集まってきた優秀な技術者である環境研修団の皆さんでさえ、驚嘆したようです。

講義の様子

視察企業での勉強会

企業視察

研修団のみなさんは、初めて日本を訪れるという方がほとんどで、研修や勉強以外で一番楽しみにしていたのはやはり食事と買い物とのことでした。近年、日本料理が中国でも普及したことにより、以前のように、「刺

身が食べられない」、「生のものは苦手」という人は今回はほとんどおらず、本場の日本料理の美味しさをみんな満喫していました。しかし、一つだけどうしても慣れていないことがありました。それは、食事とともに出された氷水です。中国では漢方の考えから冷たい水は胃腸によくないとの認識があり、特に食事の時はお湯や温かいお茶を飲むのが一般的なので、食事とともに出てきた氷水を皆さんは不思議に思っていたようです。

夕食後はショッピングを楽しんでいました。日本の化粧品やカメラ、腕時計などはもちろん、和歌山の特産品である梅酒や梅干、醤油もたいへん人気があり、一週間の研修で豊富な知識を収得するとともに、皆さんのスーツケースもパンパンに。

日本料理を楽しむ

和歌山城の紅葉を楽しむ

一週間というとても短い期間でしたが、研修団の皆さんはたいへん満足した様子で 30 日に帰国しました。みなさんが日本の知識や日本の文化などを持ち帰り、中国の環境改善に貢献するとともに、日中友好交流の架け橋にもなれるよう、心から願っています。

## ● 文 化 紹 介 <1> ●

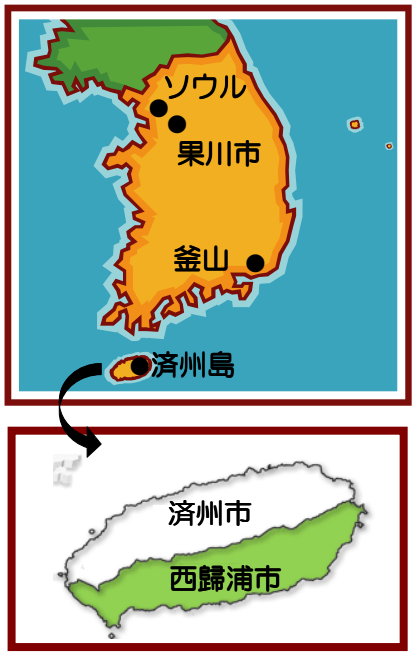
今回の文化紹介では**和歌山県と韓国の姉妹都市を紹介**します。
韓国の済州島と京畿道にある和歌山県との姉妹都市を皆さんはご存じでしょうか?

**【白浜町と京畿道の果川(クァチョン)市】**

人口：72,088 名(２０１０年)
面積：35.813 ㎢
姉妹都市提携年度：２００９年

**【済州島の済州(チェジュ)市と西歸浦(ソギポ)市】**

和歌山市と済州島の済州市
人口：429,656 名(2012 年)
面積：977.7 ㎢
姉妹都市提携年度：１９８７年
紀の川市と済州島の西歸浦市
人口：157,036 名(2012 年)
面積：870. 68 ㎢
姉妹都市提携年度：１９８７年



**果川市**はソウルの南側に位置するベッドタウンです。ソウル大公園(ソウルランド)という有名な遊園地や競馬場でよく知られている町です。今年の９月に開かれた第１７回の果川まつりに白浜町の商工会青年部のみなさんが果川市を訪問され、今年も活発な交流が行われたようです。

**済州島**は韓国で「三多島」、「三無島」とも呼ばれていますが、その理由は風、石、女性(海女)が多いという意味で「三多島」、泥棒、貧乏、扉がないという意味で「三無島」という名が付きました。

豊かな自然環境により２００７年には「チェジュ火山島と溶岩洞窟」がユネスコ世界自然遺産として登録されました。ほかにも漢拏山(ハンラサン)、オルレギル(トレーキングコース)など有名な観光地が数多くあります。昔は新婚旅行と言えば済州島でしたが、最近は高校の卒業旅行などでもよく行かれるようになりました。皆さんも機会があればぜひ一度行ってみて下さい。

ソウルランド(果川市)

トルハルバン(済州島)

## 英語ＡＢＣコラム⑤

★英語版流行語大賞★

有力候補がたくさんあり話題になった今年の新語・流行語大賞は「今でしょ」「じぇじぇじぇ」「お・も・て・な・し」「倍返し」の４つに決定しました。

この新語・流行語大賞にあたるようなものは他の国でもみられます。その１つに、権威ある辞書“Oxford English Dictionary”の発行元により決定される“Word of the Year”があります。その年に最もよく使われた言葉・世相を表す言葉を決定するもので、アメリカとイギリスでそれぞれ一語が選ばれます。今年は両国で同じ言葉が選ばれたので、世界的に流行した言葉と言えますね。１１月下旬に発表された今年の“Word of the Year”は“selfie”です。聞いたことはありますか？”self”（自身）という言葉から派生した言葉で、カメラ（特にスマートフォン）でいわゆる“自分撮り”をする行為や、その写真のことを指す言葉です。この言葉が初めて使われたのは数年前のようですが、スマートフォンの普及も進み、ソーシャルネットワークへの投稿という目的が増加したことや、オバマ大統領のミシェル夫人や有名人などが“selfie”を twitter などに投稿するなどしたことが理由で今年になり爆発的に流行したようです。

流行語大賞同様、歴代の“Word of the Year”や候補に挙げられた言葉を見ればその年の流行や世相が分かり、興味深いです。日本語でも新しい言葉が次々生み出されるのと同様、英語の語彙もどんどん増えています。まずは、今最も多くの人が使っている言葉を覚えましょう！

参考：http://www.oxforddictionaries.com/

# ● 文 化 紹 介 〈2〉 ●

もうすぐグリスマス。カトリック教徒が 75%を占めるスペインでは、クリスマスはもっとも重要な年中行事であり、国中で盛大にお祝いします。家族・親戚・友達が集まり、美味しい料理を食べながらキリストの誕生を祝い、感謝し、健康、平和、繁栄を願います。そんなスペイン・クリスマス料理の「マダイのクリスマス風（Besugo de Navidad)」を紹介します。

【材料】

・マダイ　１キロ　・タマネギ　大１個　・ニンニク３かけ　・パプリカパウダー 大さじ３
・赤唐辛子　１本　・オリーブオイル、酢　少々　・白ワイン　カップ１杯
・刻みパセリ　大さじ３　・乾燥したパン　３きれ　・塩、挽きこしょう　少々

【作り方】

1. マダイ：水を流しながらきれいにし水分を切る。
   ２枚におろし中骨を取り除く。レモン、塩、こしょうをする。

2. タマネギを刻み、ニンニクを薄切りにする。赤唐辛子を細かい輪切りにし、油をひいたフライパンに入れ中火でよく炒める。（30 分くらい）火から外し、パプリカパウダーを加える。

3. ２ を１のマダイに詰め、油をひいた耐熱皿の上にのせる。また、パンの柔らかい部分をちぎり、刻みパセリと和える。

4. マダイに少量のオリーブオイルをかけ、３で和えておいたパンと刻みパセリでマダイを覆う。予熱したオーブンに入れ、200 度で約 15～20 分焼く。

5. 白ワインにお酢を入れ、焼き終わる５分前にマダイにかける。

# ● 異 文 化 体 験 記 ●

皆さん、お久しぶりです。メルマガの異文化体験記担当、海出（うみで）です。今年の４月に和歌山県庁文化国際課から中国・山東省に派遣されて、早くも８ヶ月が経ちました。

私は、山東省政府で業務研修を行う傍ら、大学で語学研修も受けており、今回、クラスメートである留学生たちに、中国での生活についてインタビューを行いました。

皆さんとさほど年齢も変わらない留学生たちが何を思い、遠い異国での暮らしを選んだのか。このインタビューが、皆さんにとって有益なものとなれば嬉しいです。

《留学生インタビュー》

**Q：皆さんはどちらの出身ですか？**

シーラ：私は、コスタリカの大学５年生です。（コスタリカの大学は５年制か６年制）。専門は国際貿易学です。

曹徳文（ツァオ・ダー・ウェン）：私は韓国出身で、今、韓国の大学４年生です。専攻は中国語です。

アントニー：ケニアの大学３年生です。専攻は健康管理学です。

**Q：皆さんは、どうして中国に来たのですか？**

シーラ：コスタリカでは、多くの学生が海外に留学しますが、アメリカやヨーロッパに比べ、中国を留学先に選択する学生はそれほど多くありません。でも、コスタリカは中国との交易が盛んで、将来的には貿易会社で働きたいと思っていたので、中国に留学することに決めました。

曹徳文：韓国で成功を収めている人々は、皆、外国語が堪能です。中国は、今や世界第２位の経済大国ですし、今後、中国語はますます重要になってくると思い、済南市で勉強しています。

アントニー：私は、先生になるつもりで中国に来ました。中国に来てから、自分の考えは少し変わりましたが、やはり将来的には中国語を使う仕事に就きたいと思っています。

**Q：中国にはどのような印象を持っていますか？**

曹徳文：中国の経済発展の速度は大変著しく、世界経済においても重要な役割を担っているのですが、人々の考え方が、経済発展の速度に追い付いていないような印象を受けます。例えば、夏になると、男の人はどこでも上着を脱いでいますね（笑）。また、中国に来た当初は、中国人の声の大きさにびっくりしました。まるで怒られているようで。一年経ってやっと慣れてきましたね。

シーラ：中国人はとにかく親切で、目上の人を敬います。ただ、誘いを断るときの表現が少し回りくどく感じますね。

曹徳文：婉曲的な表現というのは、中国だけでなく、韓国や日本でも同様ですね。

シーラ：勿論、婉曲的な表現は私達の国にもありますが、この表現の仕方というのが凄く印象に残っています。交流を通して、もっと中国人の考え方を理解していきたいですね。

アントニー：ケニアでも中国経済の話はよく耳にします。ただ、実際に過ごしてみて少しイメージは変わりました。確かに、中国経済は成長著しいのですが、都市部と農村部では成長速度にかなり開きがあるように思います。

**Q：中国での生活で、楽しかった事や驚いた事はありますか？**

シーラ：中国の雄大な山や河は迫力満点です。コスタリカにも、海辺などに美しい景色はありますが、それとはまた違う魅力があります。

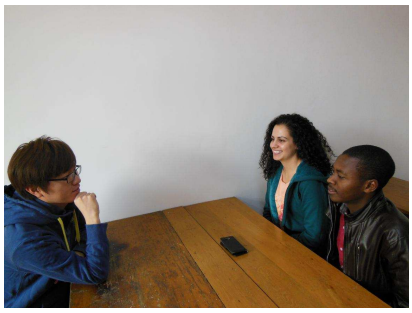
曹徳文：驚いたのは、中国の道路には沢山の人と車が溢れかえっていることです。歩道にまで沢山の電動自転車が走っていますが、あれは本当に危険だと思います。そしてもう一つ、中国は近年急激な発展を遂げた国家ですので、衛生面、特に大気汚染対策に関する取り組みがまだ十分でないように思います。

アントニー：確かに、中国の発展のスピードには目を見張るものがありますが、一方、中国の方は、自国の文化をとても大切にしているように感じますね。夕方、公園に行くと、沢山の老人たちが太極拳の練習をしています。勿論、アフリカにも伝統的な文化はありますが、近年では西洋文化の影響を多分に受けているので。自国の文化をこのように大切にできることに驚かされます。

**Q：将来、中国での経験を活かした仕事に就きたいですか？**

アントニー：先程少し言いましたが、元々、私は先生か、旅行ガイドになりたかったのです。しかし、中国での留学生活を通して、次第にケニアと中国の国際関係について興味を持つようになり、今では、国連の職員になりたいと考えています。これからどうなるかは分かりませんが、とにかく、将来的に中国語を使う仕事をしたいと思っています。

シーラ：私の夢は、貿易会社の社長になることです。コスタリカと中国間の貿易は盛んですので、しっかりと勉強して中国語を身につけることで、将来、他の人よりも有利に商売を行いたいですね。



曹徳文：私もシーラと同じです。韓国は中国と近く、交易も盛んなので中国語の需要が多いです。私は今、中国語だけでなく国際貿易の勉強もしています。将来的には、貿易会社に就職するか、もし可能であれば、国際関係の業務に携わる公務員になりたいとも思っています。ただ、韓国の公務員試験はとても難しいので、もっと頑張らないといけませんね。

インタビュー、いかがでしたか？

彼らは、昨年の９月から中国で留学生活を送っています。普段の授業と同じように、今回のインタビューの最中も終始、積極的に発言してくれました。学校の授業だけでなく、日常生活や旅行、課外活動等を通して、沢山の経験を積み、それを自分の糧にしていこうと考えているように思います。

彼らは来年１月に帰国する予定で、少し寂しくはありますが、私もそんな彼らに刺激を受けながら、中国での学生生活を充実させたいと思います。

海出　義和（平成 25 年４月より中国山東省派遣）

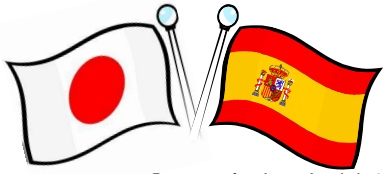
**和歌山県と青少年交流をおこなっているブルネイに関するクイズです！**

1．私達が通称で“ブルネイ”と呼んでいる国の正式名称は“ブルネイ・ダルサラーム国”です。
では、ダルサラームとはどういう意味を持っているでしょうか。
①繁栄する港
②平和な土地
③国王の宝
④豊かな大地

2．ブルネイの面積は、日本のどこと同じぐらいの大きさでしょうか。
①大阪市
②三重県
③淡路島
④北海道

2013 2014 AÑO DUAL ESPAÑA-JAPÓN 日本スペイン交流400周年 400 AÑOS DE RELACIONES

## ● お 知 ら せ ●



## 『サンティアゴへの道～2014～』　参加者募集！

**1．目的**

1）和歌山県の青少年の代表として、世界文化遺産「熊野古道」と姉妹道関係にある巡礼道「サンティアゴの道」を有するスペイン・ガリシア州を訪問し、現地の人々との交流や文化紹介等を通じて共同生活等を通じて友好親善を図る。

2）事前・事後及び現地での研修プログラムを通じて、日本とは異なるスペインやガリシア州の文化について理解を深めるとともに、将来、グローバルに活躍できる人材を育成する。

3）日本とスペインとの間で実施される「日本スペイン交流 400 周年事業」プロジェクトの一環として、日本とスペインとの相互理解の促進と二国間関係の発展に寄与する。

**2．主催及び後援**　1）主催：和歌山県、スペイン・ガリシア州
2）後援：駐日スペイン大使館

**3．派遣先**　スペイン国　ガリシア州

**4．実施期間**　平成 26 年３月７日（金）～３月 16 日（日）

**5．募集定員**　15 名（最少催行人数 10 名）

**6．参加対象**　和歌山県内在住、または和歌山県内に通学・通勤されている 15 歳以上 30 歳以下の方（和歌山県の学校を卒業された方を含む）で、所定の条件を満たす方。（但し中学生は除く）

**7．研修プログラム**　「サンティアゴへの道」散策、ホームステイ、ガリシア州政府表敬、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学訪問、州内視察など。

＊対象者条件、費用、応募方法、事前研修など詳細につきましては、和歌山県のホームページをご覧下さい。
http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/galicia2014.html

**◇応募締切：所定の申込書に添付書類を添えて 12 月 20 日（金）までに持参、または郵送にて文化国際課にご提出ください。**

**◇お問い合わせ：**〒640－8585　和歌山市小松原通 1－1　和歌山県文化国際課　山田・中村
TEL.073－441－2055

今回のメルマガは如何でしたでしょうか。異文化体験記では、日本人以外の留学生の中華人民共和国についての様々な意見を拝見し、本当に興味深いものがありました。
寒暖の差が激しい今日この頃ですが、どうぞ御自愛ください。
また、次回のメルマガをご期待ください。少し早いですがよいお年を！

## クイズの解答

**1．②平和な土地**
アラビア語で「家、土地」を意味する"Dar(u)"、「平和」を意味する"(a)s-salam"という言葉からきています。

**2．②三重県**
面積は 5,765ｋ㎡の小さな国で、ボルネオ島に位置しており、北は南シナ海に面し、陸地はマレーシアが取り囲む形になっています。

※前号にもレポートを掲載しましたが、和歌山県とブルネイは平成２１年から青少年交流を行っています。